

スタートアップ部門 まちづくり活動計画書

1 助成を受けようとするまちづくり活動について

団 体 名	池上台ハウス管理運営委員会	
まちづくり 活 動 名	まちの縁側づくり	
活 動 地 域	名古屋市緑区池上台三丁目とその周辺	
活 動 の 背 景	<p>（団体の立上げのきっかけや活動に至る背景をアピールしてください。）</p> <p>2016年山田宅の空きスペースを活用してお茶会や勉強会・会議等の活用が始まった。擁壁の造り直しが必要となったのを機に築50年の古家を壊し、利用者から設計の要望を聴き集会所やまちの縁側機能を持つ新しい家を建て替えることとなった。協働で運営するために2018年1月より利用者会議をスタートし利用ルール等を検討、2018年6月から管理運営委員会を組織した。</p>	
目 的 ・ 目 標	<p>（活動の目的と、活動により実現したい目標及び成果を具体的かつ簡潔にご記入ください。）</p> <p>■目的 安心して暮らし続けられるまちづくり ～誰でも気軽に立ち寄れるまちの縁側の実現～</p> <p>■目標 まちの縁側づくり3周年を迎えてきた課題への対応に進む。 ①住民が協働で進めるまちづくり活動の意義を認識する。 ②子どもが参画することで多世代のつながりを強化する。 ③地域にあった安全安心まちづくりとして自主防災活動・交通対策のあり方を探る。</p> <p>■成果①子どもたちも参画する防災まち探検や上映会を開催し多世代交流を図りご近助力を高める。またイザというときの避難行動計画を考えることができる。 ②子ども食堂を試行しコロナ時代にも有効な活動を工夫開発する。 ③交通量調査をもとに自治会や警察との対話が進む。 ④認知症介護や電磁波障害への対処法を学ぶことで地域住民の相互理解が進む。</p>	
活 動 内 容	<p>（上記の目的、目標に沿って、活動内容や実施方法を、具体的かつ簡潔にご記入ください。）</p> <p>① 7月老人会・子ども会と協働で交通量調査を行い資料をまとめる。 ② 7月まちの縁側づくり講演会 長野県の事例を中心に学ぶ ③ 8月交通量調査に基づいて自治会や警察と協議調整を図る ④ 9月子ども防災まち探検＋防災人形劇を通じてイザというときの自分の行動計画を考える。 ⑤ 10月秋の感謝祭の一環として子ども食堂を試行する。 ⑥ 10月秋の感謝祭の一環としてSDGs勉強会で「地域医療における家族介護」や「電磁波障害の実情」を学ぶ。 ⑦ 11月シニア＆子どものための映画会を開催し多世代交流を図る。 ⑧ 12月クリスマスファミリーコンサートを開催し多世代交流を図る。</p>	
活 動 予 定 期	2021年 6月 ～ 2022年 3月	
助成金交付 申 請 額	100,000 円	※1回目（上限5万円） ※2回目、3回目（上限10万円）

2 まちづくり活動の視点

以下の視点で活動内容についてご記入ください。

<p>審査基準① 必要性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に根ざしたまちづくり活動内容か ・自分たちの住んでいる地域を住みよい環境にする活動か ・活動の実施にあたって、まちづくり活動助成金が必要な活動か ・活動メンバーのみの趣味や仲間づくりではなく、多くの人に理解や共感が得られる活動か
<p>(活動の必要性について、上記観点から分かりやすくご記入下さい。)</p> <p>新型コロナウイルス感染症の拡大により今まで以上に感染予防の知識や暮らしの工夫等を学ぶとともに、コロナ時代だからこそ求められる協力や支え合いを実現していくことが求められる。また、ますます地域の関係が希薄になっていることから子どもが参加できる形で防災をテーマにした活動を進め、多世代交流を実現したい。そうすることで地域のつながりを強化したい。</p> <p>池上台ハウスのような小規模施設では、コロナの制約があっても工夫して少人数、短時間の活動を頻回に開催し、ご近所のつながりやご近助力向上に寄与することが重要となる。</p>	
<p>審査基準② 実現性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容が具体的になっているか ・活動内容の資金計画などは妥当か ・人員や規模などは妥当か
<p>(活動の実現性について、上記観点から分かりやすくご記入下さい。)</p> <p>コロナ禍ではあるが、小規模な催しを工夫して開催することで実現性を高めていきたい。企画内容によっては参加費を徴収し運営に充てることのできる。</p>	
<p>審査基準③ 発展性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の活動の発展にむけての視点や計画があるか ・活動実施後に、地域のまちづくり活動にどのような波及効果を及ぼせるか
<p>(活動の発展性について、上記観点から分かりやすくご記入ください。)</p> <p>大規模なイベントができない代わりに、昨年度のまちづくり勉強会での学びから、ニーズの高い交通量調査に取り組み、自治会や警察との協議・調整に進めていきたい。またわが町にあった災害時避難行動をそれぞれの家族単位で考えていくことが求められる。参加体験型の啓発活動は防災を日常的な取り組みにしていくために効果的と思われるのでぜひ取り込んでもらえるよう協働していきたい。まちの縁づくり講演会やSDGs勉強会等で学んだことは運営委員の中で振り返りを行い次年度の活動計画に反映したい。</p>	

3 活動にあたり他団体（町内会、自治会他）、企業、行政の部署など協力する又は調整を図る必要がある場合には、その名称と内容を記入してください。既に連絡等を取っている場合にはその日付も記入してください。

名 称	内 容
① ナラティブクリニックみどり診療所	2020年4月より池上台ハウス顧問医として依頼済。
② 池上自治会、若草会（老人会）、南医療生協、緑区栄養士連絡会、子育て応援団ほか	自治会とは2018年緊急時の協定締結済み。管理運営委員として会議に参加、企画立案や回覧板等の広報、実施スタッフとして協力。

※第2号様式は3ページ以内でご記入ください。用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

まちづくり活動の実施スケジュール

・活動の実施日だけでなく、それに向けた準備（団体の打合せ、広報）についても具体的に記入してください。

・1ページにおさまるように記入してください。

年	月	活動項目	活動内容
2021	4	年間活動計画検討	
	5	まちづくり活動助成申請	* 新型コロナの感染状況から活動縮小
	6		交通量調査・子ども防災まち探検打ち合わせ
	7	交通量調査と分析 まちの縁側づくり 講演会	講演会打ち合わせ 講師：名畑恵さん 長野県の事例を中心に
	8	交通量調査に基づく協議	防災まち探検打ち合わせ
	9	自主防災訓練協力	子ども食堂・SDGs勉強会打ち合せ 講師：岡田衣津子さん 子ども防災まち探検 桃山学区 平松英子さん 防災人形劇
	10	秋の感謝祭①	映画会打ち合せ 子ども食堂試行、SDGs勉強会 講師：緑区栄養士連絡会、みどり診療所医師
	11	秋の感謝祭②	クリスマスファミリーコンサート打ち合せ シニアと子どものための映画会
	12	クリスマスファミリーコンサート	音楽演奏・ゲームなど
2022	1	活動成果まとめ	
	2	活動報告準備	
	3	活動報告準備	

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

まちづくり活動の予算書

1 支出

計画書の活動における支出（予算）をご記入ください。

費目 手引きの費目を参照	活動項目	内訳・算出根拠	金額 (円)	
まちづくり活動助成金（申請金額） ※活動経費の内、助成対象となる経費が対象です。 ※上限金額：1回目は5万円、2回目、3回目は10万円			100,000	
活動経費の内訳	賃借料	講演会・映画会 SDGs勉強会	プロジェクター・スクリーン借り上げ @5,000×4回	20,000
		会場費	会場利用料@1,000×7回	7,000
	講師謝金	講演会	名畑恵さん	20,000
		子ども食堂試行	緑区栄養士連絡会（調理指導料含む）	20,000
		講演会	田中由美子さん（オンライン機材の準備等）2回	10,000
		コンサート	未定 2人分	10,000
	消耗品費	講演会・まち探検・映画会・コンサートほか	コピー用紙	5,000
			プリンターインク代	8,000
		同上	お茶代	3,300
		まち探検・クリスマス会	景品	5,000
	印刷費	同上	印刷費・コピー代	3,000
	その他経費	まち探検・映画会・子ども食堂試行	1日行事保険 @1,900×3回	5,700
	物品費	まち探検等	エアーマット・ライト等防災用品	5,000
	資料費	まち探検・映画会	参考図書購入費	7,000
通信費	連絡用切手等		1,000	
支出合計			130,000	

※1ページにおさまるよう記入してください。用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。